

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

東洋の黄連解毒湯

(おうれんげどくとう)

第2類医薬品

本剤は、「肘後方」・「外台秘要方」に記載されている黄連解毒湯に準拠して製造された煎薬用の紙パック剤です。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1)医師の治療を受けている人。 (3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸 間 膜 静 脈 硬 化 症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 1ヵ月位(鼻出血、二日酔に服用する場合には5~6回)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

比較的体力があり、のぼせがみで顔色赤く、いろいろな傾向のある次の諸症：鼻出血、不眠症、ノイローゼ、胃炎、二日酔、血の道症、めまい、動悸

【効能・効果に関連する注意】

血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

【用法・用量】

大人(15才以上)は1包(1日量)につき水400mLを加えて約半量になるまで煮詰め、紙袋とともに煎じかすを取り去り、煎液を食前又は食間2回に分けて服用して下さい。小児(15才未満)は同様に煎じて、下記の量を食前又は食間2回に分けて服用して下さい。

年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1 日 服用回数	年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1 日 服用回数
大人(15才以上)	全 量	2 回に 分けて	4才未満2才以上	1/3量	2回に 分けて
15才未満7才以上	2/3量		2才未満	1/4量	
7才未満4才以上	1/2量				

【用法・用量に関連する注意】

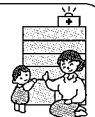
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。
- 用法・用量を厳守すること。

【成分・分量】 [本品1包(1日量) 8.0g中]

日本薬局方 オウレン……………1.5g 日本薬局方 オウゴン……………3.0g
日本薬局方 オウバク……………1.5g 日本薬局方 サンシ……………2.0g

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。
- 煎じ薬は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。



【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0120-00-1040

受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問合せ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
電 話 0120-149-931

製造販売元

東洋漢方製薬株式会社

〒584-0022 大阪府富田市中野町東2丁目1番16号